



▲(写真上)お客様の新築の記念にと制作した古民家。(写真下)旧和木沢中学校の復元模型。校庭など細部まで丁寧に再現されている。



▲手にしているのは、実際に模型製作に関わった人工衛星「かぐや」。

今、佐藤さんには、もうひとつ目指しているものがある。それがヒーリングアート。模型づくりの技術と、指先の器用さを活かして新しい技法を描く、癒される鑑賞用模型とでもいえるもの。それを広げていくのが匠の夢でもある。

今はテレビゲーム全盛の時代。でも昔は男の子なら誰でもプラモデルが好きだった。佐藤さんも子ども頃、職業にしようとは考えてもいなかったが、26歳の時、たまたま目にした広告から、東京で発電所などの建築模型を製作する会社へ就職。原子力発電所の模型の精密さとスケールの大きさに圧倒されたという。そこで15年以上経験を重ねた。平成2年には大阪市で開催された「花の万博」の会場模型を何日もかけて製作し、最後は徹夜で仕上げた。その模型を見た近所の子どもの輝く目を見て、子どもに夢を与える仕事と確信し、これをきっかけに仕事にのめり込んでいったという。平成4年には実家の都合で、白沢に戻り県内では初となる建築模型の製作工房を設立。模型製作を続けることになった。しかし、地方では建築模型の重要性が理解してもらえず苦労したと話す。また、仕事をもちょうろのため大手ゼネコンのある仙台まで通ったりしたが、思うような結果が得られなかった。しかし、徐々に公共施設や民間のマンションなどの建築模型の仕事が入ってくるようになった。佐藤さんが製作する建築模型は、図面通りに寸分たがわず、その質感までも本物のように自分で工夫し手作りする。

# 匠

TAKUMI

今回ご登場いただくのは、建築模型を手がけるスケールモデル・ジオの佐藤 実さんです。これまで、数多くの建築模型を制作し、実際の建物の形状のみならず質感までも忠実に再現する県内初の模型工房を設立した匠です。

## スケールモデル・ジオ

佐藤 実

(糠沢字小田部)  
TEL 44-4462

本宮市の皆さんを紹介するページ

# みんなのひろば

## 今月の人

渡辺 喜盛さん

YOSHIMORI WATANABE

(稲沢字堂ノ入)



渡辺さんは、「山登りを本格的に始めたのは、ここ6年くらい」というが、登山歴は実に40年。年に9回くらいは山に登る。取材の前日まで八ヶ岳に行ってきたばかりという。「登山も楽しいが、山で花の写真を撮るのが一番の楽しみ」という。また渡辺さんは、地元で貢献したいという思いから、十五夜に行う地元の祭り「豊年踊り」を24年ぶりに復活させるきっかけをつくった。渡辺さんは、地元を愛し人とのつながりをとても大切にしている方であった。

## 私の随想録

### 「アジサイ病」

今年2月の「還暦を祝う会」を開催するにあたり実行委員長として、委員の皆さんの協力で盛会に終える事が出来たこと同級生の皆さんまた、花を添えて頂いた恩師の先生方に深く感謝申し上げます。私は幸せ者です。「初老の祝」の時も実行委員長として一生に一度の行事を二度もお役を頂

けたことに、同級生の皆さんに改めて感謝申し上げます。私の楽しみは、白岩中学校同級会・同級生の「あさひで会」、同級生友人の「二心会」、6年3組のクラス会、稲沢分校の同級会、登山の「エーデルワイス」、絵手紙の「しらさわ絵手紙サークル」、山野草の「花と緑を愛する会」「花の写真」等々友人知人との集いが私の生きがいです。

アジサイ病は5月から8月に罹る病気で、アジサイなしでは生きられない心の病です。私は6年前頃に発病しましたが、治療方法はなく、医者も居ません。9月頃になると病も和らぎますので諦めています。

後遺症のお蔭で、現在土手にアジサイを千株植えました。畑に2千株移植し、プランターに千五百本移植し、今年もプランターに挿し芽三千六百本挿しました。目標は土手に1万株植える事です。健康であればあと5年で達成したいと思っています。

土手をキャンパスに見立てて孫の名前「スズノシン」「ココロ」「アツヤ」「ナツキ」をアジサイで描きたい。現在どんな色で染めたらと調色思案中です。

◇◇◇  
来月は、増子未幸さん(関下字上屋敷)の予定です。

## こどものひろば

### 「本宮空手道スポーツ少年団」

登録者数：39人  
活動日：(月曜日)PM7:00～9:00 本宮体育館  
(金曜日)PM7:00～9:00 総合体育館  
※都合により会場を変更することがあります。  
連絡先：代表(団長)川名 清  
電話：34-2664



市内で活動するスポーツ少年団を紹介するのは、「本宮空手道スポーツ少年団」です。

本宮空手道スポーツ少年団は、昭和61年に認可されました。活動の歴史は古く、



昭和46年に創立された社団法人日本空手協会本宮支部・少年部がその母体です。団員は小学2年生から高校生まで31名おり、今年4月の昇段審査に合格した人を含め、11名の少年有段者がおります。

稽古は、正座・礼から始まり、準備運動、ストレッチの後、指導員の先生の指導のもとに、「人格の完成に努める」「努力の精神を養う」「礼儀を重んずる」の教えを胸に、立ちかた、突き、蹴りの基本技の習得を重点に、さらには形、組手へと進みます。最後は全員正座、めい想、道場訓唱和、礼で終わります。

私たちの大会は、県南区大会、県大会、東北地区大会、全国大会などがあり、毎年多くの団員が出場、活躍し好成績をあげています。今年4月に行われた県大会では、2名が優勝しました。また、東北大会(盛岡)では

3名が入賞(3位、5位、8位)しました。宮城県利府町で開催された全国大会には、県代表として8名(男子5名、女子3名)が出場しました。

私たちの稽古はつらく、厳しいときもありますが、努力をして色々な技や難しい形を覚えることは、とても楽しいことです。

最近、保護者の方も、団員の熱心な稽古の様子を見て、自分も空手をやってみようという声も出ています。

皆さんも私たちと一緒に、日本古来の武道である「空手」を習ってみませんか。



## FM Mot.Com 秘情報

### あの声は、私です...



《パーソナリティ紹介》

◆ラジオネーム：遊佐 徹

◆本名：遊佐 徹

◆出身：本宮市

◆趣味：寝ること

(いつでも、どこでも、

だれとでも)

◆担当番組：ドラムでボン!  
(毎週月曜日 午後9時30分～)

◆リスナーに一言：

「プラスバンドのコーナーもあるよ!!皆さんのサークルにおじゃまするか?そのときはよろしくネ!」